

あなたがあなたであるために

～シートとお日様が繋げた自立支援～

発表者: 杉本敦彦・寺坂菊江

1. 事例紹介 M氏

女性 要介護5 認知度Ⅲb 自立B2

生活歴

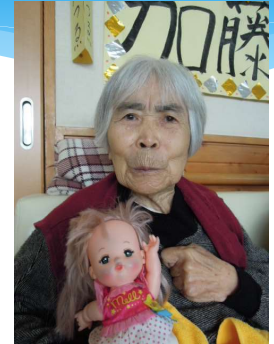
- * 農業→70歳まで部品工場へバイクで通っていた
- * 建設自営業の手伝いをしていた

趣味

- * フラダンス 社交的ではっきりした性格
- * 玉ねぎの味噌汁が得意

既往歴

- * 脳梗塞 左麻痺 アルツハイマー型認知症 (レビー症候群の疑いあり 特定できず...)



2. 入所経緯～行動障害状態の変化

H25年5月介護者の介護苦による死亡により

急遽入所



介護者の死亡により感情失禁が強くなる

介護抵抗が強くみられる

暴言・暴力行為



殴る・蹴る・噛みつく等
職員や他の利用者様に手を出す

幻視・幻覚あり



夜間幻聴・幻覚が続き
不眠・転倒を繰り返す
センサーマット使用する

使いじりあり



ベッド上でペットを外したり便を
触ること多々あり

事故件数

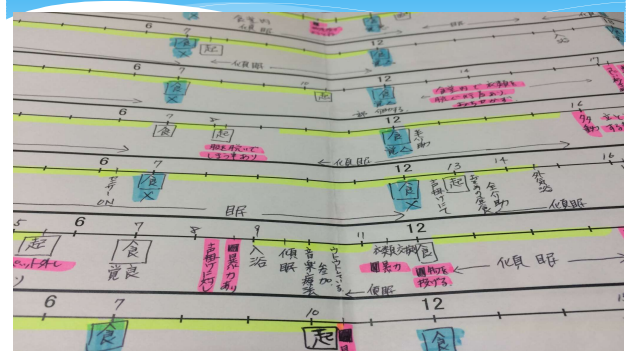
平成25～26年転倒・転落件数

20件

3. 抗精神薬変更

- * 次第に行動障害が悪化する
- * H27年6月9日医師の指示により抗精神薬を変更
→それでも行動障害が改善しなければ精神科の受診の指示が出ていた
- * 抗精神薬変更後M氏の状態把握の為オリジナル24Hシートを作成し精神科の参考資料にした

オリジナル24Hシート



抗精神薬変更後のM氏

変更前	変更後
日中覚醒状態	昼夜傾眠傾向
食事自力摂取ムセなし	食事ほぼ全介助ムセがある為、食事形態を下げる
立位良好 トイレ一部介助	立位不安定 移乗全介助 トイレ2名で対応する

行動障害は減少したが・・・
これでいいの？



具体的な取り組み

①オリジナル24Hシートの検証

②お日様プロジェクトの立ち上げ

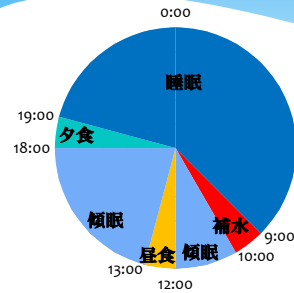
③水分1500CC摂取

オリジナル24Hシートの検証

- * 傾眠・覚醒・暴力行為を24Hのチェック
M氏の生活状態を見える化にして毎日カンファレンスを行い、日中・夜間の様子を事細かにスタッフ全員が情報を共有した

オリジナル24Hシートの分析結果

H27年7月24時間生活



傾眠・熟睡時間がなんと

21時間!!!

抗精神薬を中止して様子を見ることにした

お日様プロジェクト

お日様の光を浴びることで免疫力を上げ、規則正しい生活にしていくことを目的として活動するプロジェクト

①外気浴を増やす

- * お日様の光を浴びることで紫外線の刺激によりビタミンDが作られる
- * ビタミンDは免疫力を高める働きを持っている
- * 免疫力を整えることで体調を整える



②適度の運動で血行を良くし 体温を上げる

- * 運動することによって免疫細胞が活発に働く
- * 体温を1度上げることで免疫力が5~6倍アップする
- * 体操・散歩を実施
- * 亀寿の郷では『イージーウォーク』を取り入れている



③腸内環境を整える

- * 腸内環境を整え、便秘改善とストレス減少へ繋げる
- * R-1ヨーグルトを摂取し腸内バランスを整えることで免疫細胞が活性化して免疫力をアップさせる



水分摂取1500CC

水分を摂取することで脳に刺激を与え、活性化させることができる

お茶を中々飲まない時は・・・



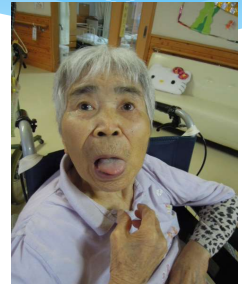
甘い飲み物(ジュース類)や水分ゼリー(補水用ゼリー)を飲んでいただく

覚せい状態を目指す

活動の成果と評価

M氏の状態を職員全員が共有することで・・・

「ケアでM氏らしさを取り戻す！」
チームケアへと繋がった!!!



抗精神薬中止後のM氏

中止前

昼夜傾眠傾向



中止1ヶ月後

日中覚醒状態夜間熟睡する

食事時傾眠状態で ほぼ全介助



食事自力摂取ムセなし

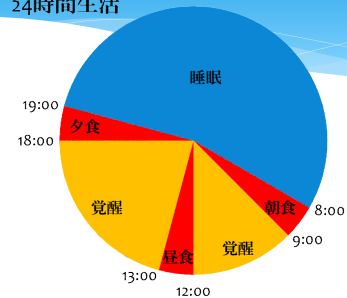
立位不安定 移乗全介助 トイレ2名で対応する



立位良好 トイレ一部介助

24Hシート1ヶ月後の評価

H27年8月 24時間生活



覚醒時間 →

11時間!!!

夜間良眠が続き → 転倒・転落が減少

日中トイレで排便があり → 夜間の便いじり減少

事故件数
 平成26年6月～H27年5月 → 18件
 ↓
 平成27年6月～H28年5月 → **4件!!**

センサーマットを外すことが出来た

結果・・・

サンキューペロ
マッチ!!

Before → After



覚醒状態が続き、穏やかなM氏を取り戻せた!!

今後の課題

- *『M氏らしさ』に拘り、生活歴に沿った楽しみや役割の提供を行うために、地域の方も取り込んだチームケアに繋げていきたい
- *『その人らしさ』に視点を置き、医療に頼りすぎないケアを実践し、施設のみならず、地域にも広く浸透させていく

ご清聴ありがとうございました

